

平成 25 年 3 月 4 日

半田市長 榊原純夫 様

半田市教育委員長 水野尚美 様

半田教育改革協議会会長 千頭 聡

半田商工会議所会頭 榊原卓三

### 教育改革への具体的提言について

8 年前、半田商工会議所は「半田から教育を変えよう」を合言葉に教育改革運動を始めました。経済人の目から見て、このままではこの国はダメになる。それを防ぐのは人づくりであると考えたからです。それから 6 年間は教育界のみなさんと会議所の教育改革担当の委員会メンバーとの度重なる交流と、会議所による学校教育支援の活動が続きました。その中で最も大きな成果を上げているのが半田市教育委員会の発案により市内全域で推進されている【あいさつ運動】です。これらの交流や活動を通して教育界と会議所との間に深い相互理解と信頼が醸成されました。その結果生まれたのが、半田の教育改革の全般的な方向性を協議する教育改革専門委員会と、その内容を最終的に協議決定する半田教育改革協議会でした。共に教育界、行政、議会、経済界、有識者、若い世代を代表する委員で構成され、全国でも稀な組織となりました。

毎月 2 回開催される専門委員会がまず取り組んだのが現代社会の分析と評価でした。そこで問題点として抽出された代表例を挙げれば、自分のことや目の前のことしか考えず困難に耐えられない若者の増加、核家族化や家族の崩壊の進行、絆を失ってバラバラになってゆく社会、そして祖国のことをほとんど知らず国の将来に無関心な国民・・・でした。

なぜこんな国の姿になってしまったのでしょうか。専門委員会はこのような国の姿と教育との関連について何度も何度も熟議を重ねました。子どもたちは純粹無垢であり、その能力と可能性は無限にあります。しかしながら彼らが先のような若者や社会人に育ってしまうのはなぜでしょうか。この国が豊かになったことがその最も大きな原因かもしれません。しかし再び貧乏な国に意図的に戻すことは非現実的であり、とすれば問題解決の為には、子どもたちを育てる「親と家庭」「教育界」そして「行政と地域」が教育の在り方を変える以外に方法はありません。

このような視点に立って、専門委員会で更に長時間にわたって議論を重ねた結果が別紙に示す【具体的提言】です。尚専門委員会での議論の経過は提言の左側に簡潔にまとめております。また、教科書については十分議論を尽くすことができず、引き続き研究を重ねます。

教育委員会ははじめ各界におかれましては、提言に加え、それぞれの体験に基づいた知恵を添えて提言を確実に実践して頂き、少しでも半田の教育が変わることにお力添え賜うことを切に願いつつご提言申し上げます。